

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	支援時は適切。入れ替わりの時間に混雑することがあるので、コロナ禍対策のために密にならないよう配慮していかなければならない。また、保護者用の面談スペースの確保も課題。近日中に対応予定。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	1	2	法令上の必要人数は満たしている。しかし、職員が欠席した場合にお子さんに迷惑をかけてしまうことがり、決して充分とはいえない。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	0	教室内には段差がなく、松葉杖を使った移動にも支障はない。しかし、入口外に段差があるため、特に夕暮れ以降の出入りや年少のお子さんには注意を促している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	それぞれのお子さんの支援目標や成果、週の支援予定や役割分担、感染対策など、全職員で検討し、落ちやり忘れがないよう注意している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	保護者による事業所評価は、意見をいただくことはありがたいことだという立場で、届けられた意見を真摯に受け止め、対応策を全員で話し合っている。いただいたご意見をしっかりと生かすことができるかが重要で、今後の取り組みにかかっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	昨年度と一昨年度の事業所評価は教室のホームページに公表済み。本年度の評価結果も 2 月上旬には同ホームページに公表予定。今年度分が公表されたときには、保護者にもお知らせする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	0	発達支援研究所による指導は受けているが、長野市による監査の予定は今のところ入っていない。適切な運営や書類等の管理に努めていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	0	本年度は外部での研修の多くが中止又は web 開催になったり、会議資料が配布されるだけだったりした。そのため、外部研修の機会は減少し、時間もあまりとれなかった。しかし、発達支援研究所主催の研修にはすべて参加し、理解を深めることができた。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	お子さんの様子を再確認するため、職員が全員のアセスメントを実施した。常に新しいデータに更新する必要があることと、新しいアセスメントシートが発達支援研究所で作成されたことを受け、来年度に保護者の意見も踏まえたアセスメントを実施予定。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	発達支援研究所が作成し、すべてのきらりで使用しているアセスメントシートを活用している。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	3名の指導員がそれぞれのアイデアを出したり試作を行ったりしながら支援プログラムを立案している。前回までの支援の様子や保護者からの情報についても、適宜情報交換して進めている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	新しい教材を開発したり、それぞれアイデアを持ち寄ったりして、プログラムが固定化しないよう努めている。しかし、学習中心のご希望をいただいている場合など、どうしても内容が固定化しがちになってしまうことがある。その場合も、できるだけ楽しく取り組めるよう考えていきたい。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	休日や長期休みには、学校での課題を行ってほしいという要望が多くなるため、対応している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	支援計画は基本的に個別活動を中心にして作成しており、集団活動に頻繁に参加しているお子さんの場合も、支援計画には反映させてこなかった。今後の検討課題とする	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	毎朝、打ち合わせ会を全員参加で行っており、その際に各自の役割分担の確認や、お子さんに関する情報と支援の様子についての報告などを行うことで、情報共有をはかっている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	18時の枠に支援が入っていることが多く、その場合には終了後の振り返りや打ち合わせの時間をとることができない。ただ、重要事項は短時間で伝えあうとともに、翌朝の連絡会で情報共有を行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	支援終了後には、その日の支援の目標と内容、お子さんの様子、保護者の方からの意見などについて担当した指導員がまとめ、記載している。記載内容については児発管も定期的に目を通し、個別支援計画作成会議や支援会議等に生かし、今後の支援方針の検討資料としている。	
	関係機関や保護者と	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	6カ月に1回ずつ保護者の意見もいただきながら見直しを行っている。計画案の見直しと作成に際しては、指導員からの意見を反映させている。
		⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	2	2	0	保護者の方のご意見やお子さんの様子から支援を組み立てることが多く、ガイドラインの総則についてはあまり意識してこなかった。今後の課題とする。
	関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	0	本来ならば支援を行っている指導員が出席した方がよいだろうが、支援時間と会議が重なることが多く、児発管が出席することがほとんどとなっている。きらりで開催される場合は、支援のない時間に予定を組むため、指導員も出席している。
		㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	年間予定（特に長期休暇や臨時の休業日）についての連絡に加え、支援内容について情報交換をすることで、一致した方向で支援に当たることができるようにしている。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在、教室では医療的ケアを行っておらず、これまで主治医と直接連絡を取ったことはない。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	支援会議での情報交換に加え、年長で新しい環境への不安が強いお子さんについては、園と緊密に連絡を取り、そのお子さんの就学がスムーズにいこう意見交換をしてきた。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	3	1	0	これまでのところ、このようなお子さんはまだおられない。この3月に卒業されるお子さんがおられるので、支援会議で連携の取り方について協議している。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	より専門的な訓練を受けた方の助言が必要な場合があり、保護者の同意も得ながら関係機関と情報交換し、今後、助言を受けながら支援を行う方向で計画を進めている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	こうした機会は特に設けていない。活動の必要性も含めて職員での検討事項とする。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	2	本年度は協議会がすべて中止になったため、参加していない。今後再開した場合には積極的に参加する。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	0	支援後の振り返りの時間に指導員がお伝えしたり、支援中に児発管がお話したりして共通理解をはかるよう心掛けているが、これで充分ということはない。特に児発管との情報交換は、まだまだ不足していると考えており、今後改善すべき点である。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	0	1	振り返りの時間に指導員がお話を伺っている。ただ、それ以外には、教室に本を置いて自由に読んでいただいているくらいで、特別なことを行ってきただけではない。もっとできることがないか検討する。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時にはできるだけ丁寧に説明するよう心掛けている。ただ、利用者負担についてはわかりにくい内容が多いので、説明資料を作成した。今後も資料を改定し、わかりやすいものにしていきたい。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	保護者の相談には応じているが、適切に応じ、必要な助言と支援ができていのかどうかは甚だ心許ない。また、相談しやすい雰囲気になっているかどうかについても疑問に感じている。今後さらに改善していかなければならない。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	本年度は保護者交流会を春と秋の計3回実施。好評だった。ただ、祭日と重ねたために出席できなかった方がおられた。今後は、保護者の了承を得たうえで、管理者を介して共通の問題意識を持つ方を個別につないでいく活動にも力を入れる。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	いただいた意見を「苦情」ととらえるのではなく、より良い支援を行っていくための助言ととらえ、反省すべきところは反省して次回からの支援に生かしていこう、と話し合っている。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	会報は発行していない。LINE でほとんどの保護者の方とつながるようになったので、週 1 回程度、教室からのお知らせを発信し、その中で活動概要や今後の予定、支援に関する情報などをお知らせしている。LINE 登録のない方のために、教室にもその内容を掲示している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	この点に関して、これで充分ということはない。職員同士で気が付いた点を指摘しあうことに加え、研修の機会をとらえて自分たちの状況を確認していく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	あいさつを大切に考え、声掛けをしている。ただ、この点についても、努力はしているが配慮が充分かどうかはわからない。お子さんや保護者とコミュニケーションを取る中で問題点を明らかにしていく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	2	今年度は行事に地域の方を招待したことはない。ただ、何かあったときには地域の方とすぐ連絡をとれるよう、地域の方とのつながりは大切にしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	各種マニュアルは作成済み。しかし、保護者の方に周知しているのはその一部に過ぎない。避難経路を感染症に関するマニュアルは、保護者の方の目につきやすい場所に掲示してある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	毎月防犯訓練を行っている。様々な事態を想定した実施内容を年間計画の中に位置づけている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	本年度の研修会は中止となり、かわりに資料が届いたので、全員で回覧し、様々な事例について再確認を行った。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	身体拘束の可否の判断や、保護者からの身体拘束の同意の有無など、これまでしっかりとしていなかった面があった。本年度は同意書を用意し、必要な場合には保護者に説明して同意をとる手続きを進めてきた。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	食物の提供はしていないため、医師の指示書は所持していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	ヒヤリハット事例が発生した場合、発生した状況や行った対応の適切さなどにつき全員で情報共有し、報告書にまとめるとともに、保護者と会社にも報告している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校校

保護者等数（児童数）：45 回収数：33 割合：71%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	0	子どもたちの活動スペースはある程度確保されているが、保護者の方の待機スペースや振り返り時に話をする場所が不足している。近日中に配置を変更し、新たな待機スペースを設置する予定。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	5	0	職員数は法定の基準を満たしている。しかし、不在の職員いる場合にはお子さんに迷惑をかけてしまう。今後の検討課題。北長野校は職員の専門性は多様であり、今後もそれぞれの専門分野を生かした支援を行ってきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	13	1	お子さんの身長に合った机や椅子、トイレの手すりなど、まだまだ改善しなければならない点が残されている。少しずつ解決できるよう努めていきたい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	29	3	0	お子さんや保護者のニーズを伺っての計画作成に努めたが、客観的な分析に基づいていたわけではなかった。本年度はこの点を改善するため、発達支援研究所作成のシートを使い、職員ですべてのお子さんたちのアセスメントを行った。来年度は、改訂されたシートを使い、保護者の方の意見も伺いながらアセスメントを行って、より客観的な分析を試みる予定。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	28	4	0	指導員全員でアイデアを出し合いながら、様々な教材を取り入れることで固定化を防いできた。これからも新しい教材の開発に励んでいきたい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	13	15	本年度はこのような交流の機会を設定していない。保護者の方からも不要だとの意見が寄せられており、必要性も含めて今後の検討課題とする。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	2	0	契約時や初めて領収書等をお渡しする時に、丁寧にお伝えするよう努めてきたが、十分な説明ができていたかは疑問が残る。今後更にわかりやすい書類に改定していきたい。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	0	0	振り返りの時間に、指導員が一方向的に話すのではなく、保護者の方からいろいろな意見をいただいており、このことが共通理解の役に立っている。これからも保護者の方からの情報を大切に受け取ってきたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	3	0	これからも保護者の方と話す時間をしっかりと確保し、お子さんの様子を丁寧に伝えるよう心がけるとともに、私たちのわかる範囲で保護者の方のお困り感に対して私たちの考えをお伝えしていきたい。

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29	2	1	本年度は保護者交流会を春と夏に計3回実施した。保護者の方からも好意的な評価をいただいた。今後も計画するとともに、了解をいただいたうえで、情報を欲している方と情報をお持ちの方を、職員を介してつないでいくことも積極的に行っていきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	3	0	保護者の方やお子さんからいただく意見は「苦情」ではなく「助言」だと捉え、反省すべき点は反省し、今後の支援の参考にしていこうという立場に立ってこうと話している。いただいたご意見を真摯に受け止めて改善に努めていきたい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	1	0	支援中や振り返りの時間だけでなく、電話やメール、LINEなども使いながら、保護者の方に気楽に思いを伝えていただけるようにしたい。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30	2	0	教室での活動の様子をブログで発信しているが、ブログを更新したことを保護者の方にお伝えしないままになっていたことがあった。LINEの一斉送信も活用しながら情報発信をしていきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	29	3	0	この点について、これで充分ということはない。悪意のある情報操作は当然許されないが、気がつかないうちに安易な扱いをしていることがないかなど、職員全員で個人情報保護への感度を高めていきたい。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	4	0	各種マニュアルは完備しているものの、保護者の方にはその一部を見ていただいたに過ぎない。見やすい場所に設置するなど、対応を考えていく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	9	1	毎月、全職員が参加した防犯訓練を実施し、その中で様々な災害対応や不審者対応などを確認している。昨年度はお子さんを交えての交通安全教室を行っており、来年度はどこかで計画してみたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	26	5	1	これはすべてのお子さんに「はい」を選んでいきたいところ。苦手なことを扱うとはいえ、無理矢理やらされているのでは力は伸びない。楽しい活動を通して自然と力がついていく、そんな活動を理想として、これからも精進していきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	29	4	0	お子さんが楽しく活動し、なおかつ力がついていくことが、お子さんや保護者の方の満足感につながると思っているが、それだけではなく、お子さんや保護者の方の声に耳を傾けているか、来てよかったと思っただけのような教室運営ができていないかなど、様々なことを常に反省し、改善・向上させていかなければならない、と考えている。